

令和3年5月21日

日本石鹼洗剤工業会  
会長 長谷部 佳宏

## 令和3年度 日本石鹼洗剤工業会 活動基本方針

当工業会は、石鹼、洗剤を中心とする日用品、および産業用原料や日用品の原料となる脂肪酸、グリセリン等の生活者の身近な製品を取り扱うメーカーを構成員とし、業界の健全な発展に寄与するために、共通課題の解決をはかる活動を続けています。

昨年は、1月末より、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大でパンデミックとなりました。このような状況下、当工業会の会員社は、生活必需物資である洗剤やその原料を供給する業界として、感染対策に細心の注意を払って事業を継続し、需要の高まった洗剤製品などの安定供給に努めながら、リモートワークなどを活用して、業界の共通課題を解決する活動を維持してきました。

除菌機能を持つ洗剤製品の需要の増加に対応すると共に、啓発活動も活発に行いました。児童の手洗い啓発活動の「手洗いポスターコンクール」の応募数、養護の先生方と共同開発した手洗い教育プログラムのダウンロード数、石鹼のエピソードを詠んだ川柳の募集などが、大幅に増加しました。当工業会の洗剤製品の役割や衛生への啓発が、人々の快適で健康な暮らしの根幹に位置付けられることを再認識した年でありました。

一方、循環型社会形成への対策は、常に、継続的に対応しなければなりません。例えば、プラスチック問題については、90年代より濃縮洗剤や詰め替え容器を積極的に導入して、容器包装プラスチックの削減に取り組んで参りました。今後も、循環型社会形成に向けて、自主削減計画やリサイクル・CO2削減への取り組みなど、「持続可能な開発目標(SDGs)」に代表されるサステナビリティ活動を引き続き推進します。

現在、世界は経済を中心に、かつてないほど密接につながっており、1つの問題が地球全体に影響を与えるために、SDGsの目標達成は、日本一国で達成できるものではなく、世界的なパートナーシップが欠かせないものです。パンデミック対策、プラスチック問題、資源問題などSDGsに関する課題には、地域や業界を超えた取り組みが必要です。行政関連機関・関連団体・学会の皆様、そして、海外工業会など、国内外のステークホルダーの方々と密な情報交流を行い、今後もパートナーシップを通じて業界の発展に努めます。

そして、当工業会の会員社が進めてきた、イノベーションもSDGsの目標達成には重要です。

このような認識のもと、令和3年度の当工業会の活動基本方針は、次のとおりとしたいと存じます。

1. サステナビリティへの取り組みを継続・強化する

2. 広報・啓発活動を強化・充実する
3. 行政機関、国内団体、および海外の関連団体との協力関係を発展させ、諸課題に対応する
4. 公正な自由競争を基本とし、活力と創造性に富んだ業界活動により、イノベーションを支援する

## 工業会事業活動の重点

工業会の活動基本方針にもとづき、令和3年度の重点事業活動を以下の様に定めます。

### 1. サステナビリティへの取り組みの継続・強化(環境保全、化学物質管理、および製品安全)

#### (1) 環境への取り組み

プラスチックの課題については、1995年より当業界は、自主的に容器包装に使用されるプラスチック量の削減に取り組んでおります。工業会会員が一体となって、自主削減計画を立案して1期、2期計画を立案、実行し、大きな成果をあげてまいりました。2016年末に立案した2020年までの第3期自主削減計画については、当工業会で設定した環境配慮設計ガイドラインを活用して遂行してゆきます。この削減計画の継続に加えて、今後はリサイクル・CO2削減などの視点も強化した第4期自主削減計画の策定などの活動にも取り組みます。

環境や人体への安全性については、1998年より行っている化管法PRTR制度の対象となる界面活性剤の代表河川におけるモニタリングと洗剤原料のリスク評価を継続しています。今後も同物質の安全性を実際に確認し、その結果を環境年報に公表してまいります。

#### (2) 製品安全の為の洗剤製品の消費者向け情報の強化

製品安全については、消費者により分かりやすい注意喚起を行うため、新たに安全図記号の策定を行い、平成30年より洗剤製品への表示を開始しております。今後も、本安全図記号の普及と消費者への啓発活動を国内だけでなく、アジアを中心とする海外に向けても行います。

### 2. 広報・啓発活動の充実

#### (1) 業界および業界製品に関する情報発信

洗剤関連の人および環境への安全性などの情報や、適正な使用方法、衛生や健康活動への取り組みなどを、消費者、官公庁、学校、関連団体などに継続して提供してまいります。そして、これらの工業会の主要活動を広報季刊紙「クリーンエイジ」を発行して広報するとともに、ウェブサイトでの発信をより強化して、今後も広く、迅速な情報発信を行います。

#### (2) 洗剤の適切な使用と活用促進のための啓発活動

昨年のパンデミックで改めて重要性の認識された、手洗い啓発活動を引き続き実施します。

具体的には、当工業会が発足以来行っている「手洗い啓発活動」を今後も、継続実施してまいります。児童に手洗い習慣を身に付けてもらうことを目的として、小学生を対象にした、「手洗いポスターコンクール」、および養護の先生と一緒に作成した、正しい手洗いの指導に取り組める教育資料の普及を図ります。

また、化粧石鹸の普及啓発の取り組みとして、石鹸をテーマにした川柳の募集・表彰活動を行ってまいります。一方、多様化してきた商品を正しく、上手に使ってもらうために、各市町村の消費生活センターで主催する生活に関する出前講座等での洗濯講座などの啓発活動を実施してまいります。

### 3. 行政機関、国内団体、および海外の関連団体との協力関係の発展(産学官連携の強化)

経済産業省、環境省、厚生労働省、消費者庁他の関連行政との情報交換を緊密に行って、工業会の活動を紹介して、業界の発展に努めてまいります。

そして、益々進む、環境問題や化学物質管理のグローバル化に対応するために、国際工業会会議の一員として海外の関連団体との情報交流や協力を行います。本年は、秋に中国で開催されるアジア・オセアニア石鹼洗剤工業会会議において、ベストプラクティスの共有と海外への情報発信を行います。産学官連携における学術団体との連携では、グリセリンの新規用途開拓を目的とした、研究への助成は油脂化学研究者の育成に貢献しており、今後も継続実施致します。

### 4. 公正な自由競争を基本とした活力と創造性に富んだ業界活動によるイノベーション支援

#### (1) 法務関連や企業の労務課題の変化についての調査、研究の推進

社会からのガバナンス強化の要請、個人情報規制の強化、労働環境の変化などに対応するために、改正される法律や労務課題の調査・研究を継続いたします。

#### (2) 当業界原料・製品の需要動向や流通構造の変化に関する調査・分析

業界関連製品に関わる生産動態統計、輸出入統計、および油脂製品、石けん・洗剤の原材料・燃料価格の市場動向調査を継続して行い会員各位へ情報提供を行います。商流については、関連する課税制度・流通システムの標準化対応などの施策について調査、研究を行います。

#### (3) 最新技術の情報のフォローと技術標準などの設定・改訂活動の推進

他業界の技術の当業界への応用の可能性を考える機会を設けて情報の共有化をはかります。関連する技術標準(JIS や界面活性剤に関する国際基準であるISO/TC91 等)の改訂や追加を検討します。国際規格については、ISO/TC91 総会での議論により戦略的規格提案を行い、JIS については、引き続き合成洗剤(石けん)のJIS(日本工業規格)の試験方法の改訂に取り組んでまいります。さらに、知的財産に関するテーマについて研究を継続して進めます。

以上

\* 本資料は、重工業記者クラブに配信しています。 \* 問合せ先: 日本石鹼洗剤工業会 TEL03-3271-4301

令和3年5月21日  
日本石鹼洗剤工業会

日本石鹼洗剤工業会 役員名簿

		氏名	社名	会社役職	業務所管
会長	新任	長谷部 佳宏	花王株式会社	取締役社長	正・副会長会
副会長	再任	掬川 正純	ライオン株式会社	取締役社長	洗淨剤部会
〃	重任	宮道 建臣	日油株式会社	取締役社長	広報委員会
〃	〃	城詰 秀尊	株式会社 A D E K A	取締役社長	油脂製品部会
〃	〃	宮崎 悌二	牛乳石鹼共進社株式会社	取締役社長	石鹼部会
〃	〃	岩倉 昌弘	クラシエホールディングス株式会社	取締役社長	法務・労働委員会
〃	〃	阪本 真宏	阪本薬品工業株式会社	専務取締役	
〃	〃	直川 紀夫	資生堂ジャパン株式会社	取締役社長	
〃	〃	日笠 浩之	P & G ジャパン合同会社	執行役員	国際委員会
専務理事	重任	西條 宏之	日本石鹼洗剤工業会	専務理事	
理事	〃	里村 治	NSファーファ・ジャパン株式会社	取締役社長	商流委員会
〃	新任	上山 健一	花王株式会社	E S G 部門副統括	環境委員会
〃	重任	谷 洋一	川研ファインケミカル株式会社	取締役社長	技術委員会
〃	〃	片岡 清夫	共栄社化学株式会社	取締役社長	
〃	〃	三浦 芳樹	新日本理化株式会社	取締役社長	統計・情報委員会
〃	〃	坂本 隆司	第一工業製薬株式会社	取締役会長兼社長	
〃	〃	戸塚 広乃	日本アムウェイ合同会社	イノベーション&サイエンス部 シニアサイエンティスト	
〃	〃	古賀 和則	株式会社バスクリン	取締役相談役	
〃	〃	渋井 伸和	株式会社ベリカン石鹼	取締役社長	
〃	〃	三木 逸郎	ミヨシ油脂株式会社	取締役社長	資材委員会
〃	〃	竹下 ひとみ	レキットベンキナーザー・ジャパン株式会社	薬事・品質保証部 ディレクター	
監事	重任	吉岡 貴司	サンスター株式会社	代表取締役	
〃	〃	鷺津 雅広	ジョンソン株式会社	取締役社長	